

令和2年度 環境マネジメントシステム取組事業 未達成項目一覧

×・・・達成率80%未満（超過率20%超え）【23項目】

	事務・事業名	環境目標	進捗状況	達成率	担当課	原因と是正措置	欄外 数字
1	水質汚濁防止法に基づく 特定施設を持つ小規模事 業場立入監視業務	事業場立入計画に基づく 事業場数（20事業場）	6事業場／20事業場	30.0%	環境保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により立合現場担当者との日程調整に時間を要し、規制対象事業場を優先的に立入検査したため。 ・例年COD環境基準値を超過することがある鮫・白銀前面海域St3周辺の水路の早朝パトロールを強化したため。 【新型コロナウイルス拡大の影響によるものであり、事業場の操業状態に応じて、立入の是非を判断していく必要があるため。】	3
2	きれいな八戸の海・川を 創る浄化槽改造費用補助 金交付事業	合併処理浄化槽設置補 助基数 年34基	24基／34基	70.6%	下水道業務課	<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽の設置には概ね100万円程度の費用がかかり、補助金により設置者の負担が軽減されるものの、その負担は決して小さいものではないため、近年は合併処理浄化槽への転換がなかなか進まない状況にある。 ・特に令和2年度はコロナ禍の影響で収入が減少し、生活費以外の出費を抑える人が増えたためと考えられる。 【環境負荷の大きい単独処理浄化槽からの転換に対し、平成30年度から市単独の補助金の上乗せ、令和2年度から国の施策と連動して宅内配管工事費を補助対象に追加し、上記原因に記述の設置に係る個人負担の軽減を図ったが、補助金申請件数は27年度以降30基前後の横ばい傾向のままである（R2年度を除く）（ただし、単独転換は予定基数の6基に対して、令和元年度は9基、令和2年度は7基と上回った。）】	6
3	工場・事業場立入監視事 業（大気：一般粉じん発 生施設関係）	事業場立入計画に基づ く事業場数（20事業場）	4事業場／20事業場	20.0%	環境保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス拡大の影響により、一部事業場において工場内への立入制限が行われており、無通告による立入調査の実施が困難であったため。 ・また、特定粉じん（アスベスト）排出等作業に係る立入調査を優先的に行ったため。 【新型コロナウイルス拡大の影響によるものであり、事業場の操業状況に応じて、立入の是非を判断していく必要があるため。】	19
4	八戸市景観賞	20件以上の応募事例数 を確保する。	0件／20件	0.0%	まちづくり 文化推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛。 【新型コロナウイルス感染症の広がりに伴い、今年度の景観賞を実施することができなかったため。】	26
5	八戸市環境美化協議会へ の補助	八戸市環境美化協議会 の事業実施	6事業／8事業	75.0%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため。 【新型コロナウイルス感染拡大防止のため530運動やイベントを中止したため、改善は不可能。】	27

	事務・事業名	環境目標	進捗状況	達成率	担当課	原因と是正措置	欄外数字
6	市庁舎照明設備 (LED) 改修事業	電気使用量を年間1%以上減	削減率 1.2%/2.0%	60.0%	行政管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・強制換気の実施～昨今のコロナウイルス対策で一日4回強制換気を実施している。それに伴い、マルチエアコンの負荷が増加し、電気使用量の増につながった。 ・事務所環境の改善～例年はあまり対応していなかった予備暖房を実施するようにしたため、マルチエアコンの稼働時間が増加し、電気使用量の増につながった。 【昨今の情勢から変化する部分が多く、来庁者及び業務中の職員の健康を第一に考えているため、改善は現実的ではない。情勢が落ち着き、普段どおりになれば改善は可能となる。】	30
7	はちのへスマートムーブ通勤	12月の「スマーグループ通勤強化月間」期間のマイカー利用者のCO2排出量10%削減とする。	削減率 7.5%/10.0%	75.0%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・12月は職務繁忙により、公共交通機関を利用できる時間帯に帰宅できない場合があると考えられる。 ・12月は気温が低く、日が暮れる時間も早くなることから、自転車及び徒歩での通勤には危険が伴うと考えられる。 【・はちのへスマートムーブ通勤への取組は、職員の任意である。】	38
8	こども探検エコパスポート (こども探検エコパスポート発行事業)	前年度と同程度の売上枚数 (322枚) を目指す。	214枚/322枚	66.5%	運輸管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・販売PR不足や交通手段の多様化による利用者数の減少のほか、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、外出自粛等の理由から、公共交通機関の利用者数が大幅に減少したことによる売り上げ減少が考えられる。 【PR等による周知等は行っているものの、少子化や労働人口の減少により利用者数の劇的な増加は見込めないと思われる。なお、今後利用期間の拡大や利用方法等、様々な角度から検討していくこととしたい。】	43
9	J・エコパスポート (J・エコパスポート発行事業)	前年度と同程度の売上枚数 (257枚) を目指す。	181枚/257枚	70.4%	運輸管理課	同上	44
10	親子DE探検エコパスポート (親子DE探検エコパスポート発行事業)	前年度と同程度の売上枚数 (134枚) を目指す。	50枚/134枚	37.3%	運輸管理課	同上	45
11	一般廃棄物3R促進事業	リサイクル率 行政関与分: 16.4%	12.7%/16.4%	77.4%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー等の民間事業者において、資源ごみの店頭回収が普及していることから、行政収集・再生利用される資源物の量が減少し、民間による再資源化が進んでいることが要因として推察される。 【社会的要因に基づくものであり、また今般の新型コロナウイルスによる影響も不明であるため、現状では改善不可能。】	49
12	建設リサイクル法に基づく届出受付及び指導等に関する事務	パトロールの実施	全国一斉パトロール 1回/2回	50.0%	建築指導課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため春のパトロールが中止となった。 【新型コロナウイルスの影響のため】	51

	事務・事業名	環境目標	進捗状況	達成率	担当課	原因と是正措置	欄外 数字
13	廃棄文書を原料とした再生紙作成事務	環境展等への出展（1回）、エコツアーへの参加（1回）、機械見学の実施（1回）	0回／1回	0.0%	総務課	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、環境月間でのパネル展示及びエコツアーが中止となったため。 【環境月間でのパネル展示及びエコツアーともに再開の見込みは示されていない。再開となった際は、中止前と同様にパネル出展及びエコツアーへの参加を予定。】	58
14	農業体験学習	体験者数：750人	174人／750人	23.2%	農業経営振興センター	・新型コロナウイルス感染拡大により農業体験学習の開催回数が大幅減となったため。 【体験者数の減少は、コロナウイルス蔓延による社会情勢に起因するものであるため、改善は不可能。】	60
15	環境教育推進事業	エコツアー：3回	0回／3回	0.0%	環境政策課	・全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、今年度の開催を取り止めたため。 【エコツアーは来年度以降について、新型コロナウイルス感染症対策をとりつつ開催の可否を判断したい。】	63
16 17	省エネルギーセミナー	省エネルギーセミナーを開催する。	開催回数0回／1回 来場者数0人／200人	0.0% 0.0%	環境政策課	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【新型コロナウイルスの感染拡大については予想できないため、市の施策では改善できない。】	65 66
18 19	農業講座	講座数：6講座 受講者数：300人	0講座／6講座 0人／300人	0.0% 0.0%	農業経営振興センター	・新型コロナウイルス感染拡大による講座の開催中止のため。 【農業講座の中止は、コロナウイルス蔓延による社会情勢に起因するものであるため、改善は不可能。】	72 73
20	環境啓発事業	広報はちのへに特集記事を掲載（2回以上）	1回／2回	50.0%	環境政策課	・7月に開催するイベント等を紹介する特集記事を掲載予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を取りやめたため。 【新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催を取りやめたため、改善は不可能。】	74
21	環境啓発事業	新聞広告等を用いた啓発活動を行う（1回以上）	0回／1回	0.0%	環境政策課	・新聞広告に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で巣ごもり消費が増えていることから、ごみの減量等に関する啓発を行うには適していない時期であるので掲載を見送ったため。 【新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなるまでは巣ごもり消費等の状況が現在と変わらないため、改善は不可能。】	75
22	グリーン購入の推進	関係課との協議：1回	0回／1回	0.0%	環境政策課	・協議を年1回（2月）としていたが、業務繁忙により担当者が失念していた。 【契約検査課との協議時期の管理を徹底する。】	78
23	はちのへ菊まつり	総入場者数 18,000人以上	12,697人／18,000人	70.5%	公園緑地課	・開催期間が昨年度より1日短いことに加え、コロナ禍の影響により総入場者数が減少したと考えられる。 【開催する日数は年度ごとに変更する可能性があるため。また、コロナ禍が収束しない間は改善を見込めない。】	80

△・・・達成率 80%以上 90%未満（超過率 10%超え 20%未満）【4 項目】

	事務・事業名	環境目標	進捗状況	達成率	担当課	原因と是正措置	欄外 数字
1	観光農園振興事業	観光農園の開園（さくらんぼ、ブルーベリー、りんご、いちご、その他果樹）	19 園／23 園	82.6%	農業経営振興センター	・観光農園開園者の高齢化、従事者不足等。 【観光農園の開園は、園地所有者の都合によるもので、市が開園を要請することはできないため。】	16
2	うみねこプランVの推進（省エネルギー推進）	エネルギー使用量（施設）を基準年度比で 2.1%増に抑える。	実績 688,896,958.2MJ 基準年 616,405,389.9MJ	超過率 11.8%	環境政策課	・長根屋内スケート場の供用開始や八戸市総合保健センターの稼働、市民病院の緩和ケア病棟の新設に伴い、当該施設のエネルギー使用量が追加となったため。 【各使用量の増加は、施設数や業務量の増加等に起因しており、根本的な改善が不可能であるため。 うみねこプランVの計画期間は令和 12 年度までであることから、今後の状況を見ながら、適切な時期に計画の見直しを含め、対応を検討していきたい。】	33
3	エコ定期券（環境（エコ）定期券発行事業）	前年度と同程度の売上枚数（9,853 枚）を目指す。	8,283 枚／9,853 枚	84.1%	運輸管理課	・販売PR不足や交通手段の多様化による利用者数の減少のほか、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛等の理由から、公共交通機関の利用者数が大幅に減少したことによる売り上げ減少が考えられる。 【PR等による周知等は行っているものの、少子化や労働人口の減少により利用者数の劇的な増加は見込めないと思われる。なお、今後利用期間の拡大や利用方法等、様々な角度から検討していくこととしたい。】	42
4	野菜花き展示普及事業	来場者数：1,600 人	1,286 人／1,600 人	80.4%	農業経営振興センター	・新型コロナウイルスの感染拡大により来場者数が減となったため。 【来場者数の減少は、コロナウイルス蔓延による社会情勢に起因するものであるため、改善は不可能。】	71

○・・・達成率 90%以上 100%未満（超過率 10%以下）【6 項目】

	事務・事業名	環境目標	進捗状況	達成率	担当課	原因と是正措置	欄外 数字
1	公共下水道事業	普及率：65.2%	普及率（実績値）：64.9%	99.5%	下水道建設課	<ul style="list-style-type: none"> 想定と異なる地質や湧水の発生による施工能率の低下や支障物の移転、他機関による関連工事との調整に不測の日数を要したため工事の完成が遅れた。 【工事の発注について、債務負担行為の活用や早期発注することで、不測の事態に対処できる工事期間を確保し、年度内に工事を完成させることにより、普及率目標を達成できる見込みである。】 	7
2	うみねこプランVの推進 （省エネルギー推進）	温室効果ガス排出量を 基準年度（平成30年度） 比で1.0%削減する。	<u>実績 46,165.0t</u> 基準年 42,355.9t	超過率 9.0%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 長根屋内スケート場の供用開始や八戸市総合保健センターの稼働、市民病院の緩和ケア病棟の新設に伴い、当該施設のエネルギー使用量が追加となったため。 【各使用量の増加は、施設数や業務量の増加等に起因しており、根本的な改善が不可能であるため。うみねこプランVの計画期間は令和12年度までであることから、今後の状況を見ながら、適切な時期に計画の見直しを含め、対応を検討していきたい。】 	31
3	新うみねこプラン「地球 温暖化対策地方公共団体 実行計画区域施策編」	平成30年度の市内の二 酸化炭素排出量を、基準 年度比で5.2%、22万t 削減する。	<u>実績 4,190,662t</u> 基準年 4,198,539t	超過率 5.3%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 市内の二酸化炭素排出量が基準年度比で減少した主な要因は、運輸部門で人口の減少に伴い37,157t減少したこと及び、工業プロセス部門で製造量の減少に伴い15,241t減少したことが挙げられる。 しかし、特に製造業部門や廃棄物部門については、基準年度比で二酸化炭素排出量が増加しているため、短期目標である基準年度比5.2%削減を達成することができていない状況である。 【・製造業部門の二酸化炭素排出量の増加は、協定工場における燃料使用量の増加によるものである。 ・廃棄物部門の二酸化炭素排出量の増加は、産業廃棄物（廃プラスチック）の増加によるものである。 ・上記理由はどちらも市の施策では改善できない部分によるものである。】 	39
4	一般廃棄物3R促進事業	排出原単位 行政関与分 939g/人・日	<u>975g/人・日</u> 939g/人・日	超過率 3.8%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による巣ごもり消費が要因として考えられる。 【社会的要因に基づくものであり、また、今般の新型コロナウイルスによる影響も不明であるため、現状では改善不可能。】 	48
5	一般廃棄物3R促進事業	最終処分原単位 100g/人・日	<u>107g/人・日</u> 100g/人・日	超過率 7.0%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 八戸清掃工場第二工場の稼働率低下により、焼却灰の再資源化ができなかったことが要因として考えられる。 【社会的要因に基づくものであり、また、今般の新型コロナウイルスによる影響も不明であるため、現状では改善不可能。】 	50

	事務・事業名	環境目標	進捗状況	達成率	担当課	原因と是正措置	欄外 数字
6	環境教育推進事業	環境学習会：20回	環境学習会 19回/20回	95.0%	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校にて新型コロナウイルス感染症の影響による休校措置が図られたことや、全国的に3つの密を避ける行動が推奨されたことなどにより、各小学校において環境学習会開催の検討が難しく、今年度の開催申込ができなかったことが要因と考えられる。 【・環境学習会は、小学校からの開催申込を受けて開催しており、強制的に開催することはできない。 ・小学校において、新型コロナウイルス感染症対策のための休校措置による学習カリキュラムの遅れのほか、年間行事の延期日程での開催等の影響により、環境学習会を開催する時間的余裕がない状況が考えられる。】 	62